参考資料４

令和８年度　第２回多摩区支え合いのまちづくり推進会議　会議録

会議の概要

開催日時		令和８年８月５日（水）13 時 15 分から 14 時 45 分まで	
開催場所		多摩区役所６階　６０１会議室	
出席者の氏名	**委　員**	浅谷裕子（多摩区民生委員児童委員協議会） 大澤敏夫（川崎市多摩区社会福祉協議会） 小川町子（多摩区食生活改善推進員連絡協議会） 和秀俊（田園調布学園大学） 櫛笥永晴（多摩区医師会）	坂本顕隆（多摩区町会連合会） 島峯論（多摩区商店街連合会） 永井浩之（登戸地域包括支援センター） 眞壁総子（多摩区こども総合支援連携会議）
	多摩区地域包括ケアシステム推進本部幹事会・多摩区支え合いのまちづくり推進会議　事務局	佐藤直樹（多摩区長） 渡會勝行（危機管理担当課長） 板尾康章（生涯学習支援担当課長） 大磯慶記（総務課長） 佐藤直子（企画課長） 柏原美由紀（地域振興課長） 上野進（生田出張所長） 大津美和（区民課長） 田村裕（保険年金課長） 中山礼子（児童家庭課長） 根岸友絵（保護第２課長） 鈴木香奈子（衛生課長） 瀧澤祐子（保育所等・地域連携担当課長） 南奈保美（学校・地域連携担当課長） 石垣秀之（道路公園センター管理担当課長）	北川直子（地域みまもり支援センター所長） 浅見政俊（地域みまもり支援センター副所長） 出路幸夫（地域支援課長） 梶野香与子（地域支援課地域サポート係長） 河井真弓（地域支援課地区支援第１係長） 林史大（地域ケア推進課長） 杉本光一郎（地域ケア推進課企画調整係長） 内田圭（地域ケア推進課企画調整係）
	関係者	山宮順子（川崎市多摩区社会福祉協議会地域課長）	
欠席委員		川村由布子（多摩区地域自立支援協議会） 楠静子（多摩区老人クラブ連合会） 小山富士子（多摩区子ども会連合会）	
議　事		（１）第８期多摩区地域福祉計画基本方針案について （２）第８期川崎市・区地域福祉計画　多摩区地域福祉計画ページ（検討案）について （３）第８期多摩区地域福祉計画補完ツール～多摩区でみつける　つながりのカタチ～（検討案）について	
傍聴人の数		０名	

配付資料	［配布資料］ 資料１－１…第８期多摩区地域福祉計画策定スケジュール 資料１－２…第１回～第３回多摩区支え合いのまちづくり推進会議議題案 資料２…第８期多摩区地域福祉計画体系図について 資料３…第８期多摩区地域福祉計画基本方針案について 資料４…第８期川崎市・区地域福祉計画　多摩区地域福祉計画ページ（検討案）について 資料５…第８期多摩区地域福祉計画補完ツール～多摩区でみつける　つながりのカタチ～（検討案）について 参考資料１…名簿 参考資料２…多摩区支え合いのまちづくり推進会議運営要綱 参考資料３…多摩区支え合いのまちづくり推進会議について 参考資料４…令和８年度第１回多摩区支え合いのまちづくり推進会議会議録 ［冊子資料］ 第７期多摩区地域福祉計画　冊子、概要版

議事要旨

発言者	発言要旨
事務局（林課長）	次第１（開会）
	（会議録作成のため録音の承認）
佐藤区長	次第２（挨拶）
事務局（林課長）	・配布資料の確認 ・進行調整役を和委員にお願いしたい旨提案→承認
和委員	僭越ながら進めさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。 それでは次第に従い議事を進行する。議事に入る前に、前回会議において委員の皆様からいただいた御質問について、事務局から回答をお願いする。
事務局（杉本係長）	まず、小山委員から、「地域福祉実態調査等の結果について、町内会・自治会にも共有されているのか」との御質問をいただいたが、先日７月 24 日に開催された多摩区町会連合会役員会において、地域福祉実態調査結果の概要やポイントについて補足説明を行いながら、資料を配布した。今後も必要に応じて情報共有を図っていく。 続いて、坂本委員から、第８期川崎市・区地域福祉計画の市計画部分に関して、権利擁護、福祉施設整備、災害時の体制構築、福祉人材確保などについて、具体的にどのような内容を検討しているのかとの御質問をいただいた。市の担当部署に確認したところ、現在も内容を調整している段階とのことで、現時点ではお示しできる段階ではないが、第３回会議までには一定の方向性や内容をお示しできるものがあれば、ご報告させていただきたい。
和委員	続いて、議事（１）について、事務局から説明をお願いする。
事務局（内田主任）	次第３（議事） （１）第８期多摩区地域福祉計画基本方針案について
	資料１－１、１－２、２、３の説明
和委員	基本方針の策定に当たって、資料３にあるように、実態調査結果や様々な会議での意見、統計データを整理し、エビデンスに基づき課題を抽出している点は素晴らしい。委員の皆様から御意見を伺いたい。
櫛笥委員	基本方針１、２、３の全てにおいて、「つながる」という言葉が入っており、つながりを大切にしていることは伝わるが、「何と何がつながるのか」が不明瞭なため、全て同じことを言っているかのように思われてしまう。もっと明示的に、グラフィカルに表現した方が良いのでは。
事務局（林課長）	櫛笥委員の御意見を参考に、表現について検討させていただきたい。
和委員	改めて、基本方針１では「地域と関わるきっかけをつくり、つながりを生み出す」、基本方針２では「地域の活動を支え、つながりの輪を広げる」とあるが、確かに、何と何のつながりなのか、分かりづらい。

発言者	発言要旨
事務局（杉本係長）	基本方針１では、住民と地域とのつながりを「０から１へ」、基本方針２では、方針１で生まれたつながりの輪を「１から２へ」増やす、基本方針３では、方針１・２を経てもつながりづらい方に対して、つながりを見つけに行くというイメージで構成されている。確かに言葉足らずの部分があると感じているため、表現について工夫したい。
和委員	事務局から口頭で、基本方針１から３へ、段階を踏んだ構成との説明があったが、これを文字化して示すと、誤解がなくなり、良いのでは。また、資料３の右側に具体的な取組内容があるが、今後、この部分が整理されてくると、各基本方針の内容が更にイメージしやすくなると考える。具体的な取組内容については、補完ツールに関連してくるが、区計画から補完ツールへの導線があると、分かりやすくなるのでは。
永井委員	基本方針１、２、３の関係性を分かりやすくした方が良いと考える。文字で表現するのも一つの方法だが、「地域包括ケアシステム」を植木鉢のイメージで表現する例の様に、イラストで表現するのも良いのではないかと感じた。
和委員	市計画では、包括的支援体制等について、図式化されたものがあるのか。もしなければ、区計画において、ポンチ絵のような形で、各方針の関連性を示すものがあると良いのではないか。
事務局（杉本係長）	市計画での図式はまだ確認できていない。先ほどの御意見にあった通り、各方針の関連性について、イラストなど、一目でわかるような形で示すことで、「つながり」というキーワードもわかりやすくなると考えており、工夫したい。
坂本委員	第８期計画で新しく位置付ける事業について、以前から行っていた取組も含まれるようだが、本当の意味での新規事業はどれなのか。また、多摩区幼保小連携事業とはどういった事業なのか、教えていただきたい。 また、ひとり暮らし等高齢者見守り事業に関連して、高齢者のシェアハウスが最近話題になっている。中原区で始まった取組で、３０人程度の高齢者がシェアハウスで生活し、夕飯を一緒に食べる。このような取組も新規事業なのではないかと思う。
事務局（杉本係長）	これまで行っていた事業についても掲載をしている。資料３で星印を付けているものが、新しく第８期計画で位置付ける取組である。例えば、地ケアフォーラムについては、これまでも実施はしていたが、具体的な事業としては位置付けていなかったところ、今回新たに位置付けを行うこととした。 御質問のあった事業については、各所管課から回答をお願いする。
瀧澤課長 （保育所等・地域連携担当）	多摩区幼保小連携事業は、数年前から継続している事業で、未就学の子どもたちが小学校へ進学するにあたり、様々な不安を解消したり、期待を持って入学できるようになることを目的として、幼稚園・保育園と小学校との連携を行っているものである。具体的には、幼稚園・保育園と小学校の先生による意見交換や、授業参観、小学校１年生の児童と未就学児が交流できるイベントなどを行っている。こうした連携事業の企画・運営については、保育所等・地域連携担当が主導

発言者	発言要旨
	しつつ、各地域の小学校や幼稚園・保育園の園長先生と共同で計画しながら進めている。
和委員	続いて、議事（２）について　事務局から説明をお願いする。
事務局（内田主任）	次第３（議事） （２）第８期川崎市・区地域福祉計画　多摩区地域福祉計画ページ（検討案）について
	資料４の説明
和委員	議事（１）で様々な御意見をいただいた内容について、実際に区計画として冊子に掲載する検討案が示されたものである。先ほど御意見があった、基本方針の関連性を図式化して示すものについては、区計画ページのどの部分に掲載するイメージになりそうか。
事務局（杉本係長）	ページ構成については全区統一で決められている部分も多いため、区の自由度が高いコラムのページを使って掲載できるよう工夫したい。また、後ほど御説明する補完ツールにおいては、ページ構成を全て区で決定できるため、大々的に掲載できると考えている。
和委員	改めて確認だが、区計画ページには、先ほどの議事（１）で使用した資料２・資料３の内容を掲載できないということか。
事務局（杉本係長）	資料２・資料３は基本方針を検討するための資料として作成したものであり、資料４・資料５が実際に製本する冊子の内容である。
和委員	先ほどの議事（１）でいただいた御意見を反映させるには、区計画の１３～１４ページのコラム部分を使うしかないということか。
事務局（杉本係長）	掲載しきれない部分については、資料５の補完ツールを使って掲載したいと考えている。
和委員	ページ数も限られているということで、難しいかと思うが、基本方針が掲載されている９ページよりも前の部分で、「何故、この基本方針が生まれたのか」を示すのが順番として理想的。もし難しければ、最後のコラムのページでも良いので、掲載した方が、読み手にとってわかりやすいと考える。
事務局（杉本係長）	資料３に記載した、実態調査結果・統計データ等を踏まえて課題等を抽出し、基本方針を策定したという一連のプロセスについて、区計画ページで示すという理解でよいか。
和委員	読み手にとっては、何故、この基本方針になったのかが、初見では分かりづらい。基本方針を策定した理由を示すことで、自分ごととしてとらえやすくなると考える。ページ数も限られているため難しいとは思うが、検討していただきたい。 委員の皆様から御意見をお伺いしたい。
大澤委員	区計画３～４ページについては、地区の紹介ということだと思うが、各地区のスペースが小すぎるのではないか。どのような内容が掲載されるのかイメージしづらいため、教えていただきたい。
事務局（杉本係長）	多摩区では５つの地域ケア圏域について、人口等の統計データに加えて、統計

発言者	発言要旨
	から見えてきたものを箇条書きで書く想定。具体的な内容は、第３回会議でお示しする予定である。
和委員	大澤委員の御意見としては、各地区で行われている取組について、このページでもう少し掲載した方が良いのでは、ということか。
大澤委員	そのように感じたが、事務局で内容を作成されるということであれば、お任せしたい。
和委員	各地区で行われている取組については、この後の議事である、補完ツールで掲載されるかと思う。区計画３、４ページで、補完ツールへの導線があると良いかもしれない。
小川委員	支え合いに参加するための「ステップワン」の方を増やすのが一番重要で、そのためにも、イラストや図式を用いて、方針を策定した理由をしっかりと示した方が良いのではと感じた。そうすることで、読み手は「こんな取組がある」と感じるだけでなく、「自分も参加してみようかな」と思えるようになるのではないか。参加したいと思えるようなきっかけづくりが重要だと考えている。
永井委員	５～６ページ目に掲載している地域福祉実態結果の調査項目については、制限があるのか。
事務局（杉本係長）	項目については全区統一ではなく、区でピックアップした項目を掲載している。
永井委員	地域福祉実態調査結果が５～７ページに掲載され、多摩区の課題が８ページに掲載されているが、この流れが分かりづらい。自分は資料３の説明を聞いたので、何となく分かるが、初見の方には伝わらないのでは。細かい字になるとは思うが、記載した方が良いのではないかと感じた。 また、１０ページ目以降で、基本方針を進めるための「視点」という表現が出てくるが、一般的な区民の方の感覚では、分かりづらいと感じる。基本方針を進めるための「具体的な方法」などの表現の方が分かりやすいのではないか。
事務局（杉本係長）	確かに、「視点」という表現は分かりづらい部分があると考える。文言についてはブラッシュアップし、第３回会議で改めてお示しさせていただきたい。
和委員	先ほどの主張と重なる御指摘を永井委員からいただいたと思うので、改めて確認だが、５～７ページの記載内容については、全区統一で制限があるのか。
事務局（杉本係長）	一応制限はあるが、本日委員の皆様からいただいた御意見を本庁にも伝え、基本方針策定までの流れが掲載できるよう、検討したい。
和委員	各基本方針を策定した流れを区計画に掲載することについて、検討いただきたい。委員の皆様の貴重な御意見に感謝する。 続いて、議事（３）について　事務局から説明をお願いする。
事務局（杉本係長）	次第３（議事） （３）第８期多摩区地域福祉計画補完ツール～多摩区でみつける　つながりのカタチ～（検討案）について
	資料５の説明

発言者	発言要旨
和委員	現時点では文字が多いが、今後、写真や参加者の声など掲載し、見やすくなるよう進めていくことになる。事務局から説明があった通り、ここでは是非、委員の皆様が普段行っている地域の活動を掲載できればと考えている。 浅谷委員から、普段の地域活動について、お伺いしたい。
浅谷委員	民生委員として行っている活動のうち、一番のメインは高齢者の見守り活動かと思う。地域への協力として、見守りパトロールも行っている。また、中野島地区では、民生委員で子育てサロンを行っているので、そういった活動も紹介できると思う。
和委員	眞壁委員から、普段の活動について、教えていただきたい。
眞壁委員	団体の活動紹介の前に、補完ツールについてだが、冒頭で「多摩区で生まれている様々なつながりのカタチ」として３つの指針が示されている。この表現がとてもわかりやすく、基本方針とも紐づいており、良いと感じた。一方で、補完ツールの本編では「つながりを生み出す」等の固い表現が使用されており、分かりづらく、身構えてしまう。冒頭の分かりやすい表現を、本編のページでも使った方が良いのではないかと感じた。 団体の活動としては、すくすくひろばを４館運営しているほか、子育てサロンで育児相談を受けたり、医者に相談するかどうか、などの相談を受けており、そういった部分を紹介できるのではないかと考えている。
和委員	補完ツールについて、ありがたい御指摘をいただいた。議事（１）、（２）への御意見としても検討していただきたい。また、補完ツールの２３ページでも、冒頭の３つの指針を整理できると良いのではないかと考える。貴重な御意見に感謝する。 島峯委員から、普段の活動について、教えていただきたい。
島峯委員	多摩区と協働で実施している多摩区子育てパスポート事業については、９月のたまたま子育てまつりで出店を予定している。各単会の事業については、中野島北口通り商店街で、８月の最終週に全世代を対象としたラジオ体操を実施する予定である。その中で、子育てパスポートを掲示すると特典を受けられるような企画を検討している。他の単会でもそうしたイベントを検討していく予定である。経済的な状況もあり各個店での割引等は難しいが、子育て世帯を見守り、出来る範囲でサポートするという形で取組を継続していきたい。
和委員	様々なイベントがこうした形でつながるのは素晴らしいと感じた。 大澤委員から、一人暮らしの高齢者への手紙の活動について、教えていただきたい。
大澤委員	多摩区社会福祉協議会では、一人暮らしの高齢者を対象に、毎年、年賀状・暑中見舞いを各３００枚程度出している。手紙の文章は小学校４年生が書き、宛名書きは多摩区社会福祉協議会が書いて出している。長年継続してきた取組であり、今後も続けていきたいと考えている。また、補完ツールにはＴｅａｍＳＵＧＥの

発言者	発言要旨
	取組が掲載されているが、発足前の経緯もあって、自分も毎回参加している。菅地区の様々な団体が集まって話し合い、「地ケ算」という形で良い方向にまとめていこうという取組である。
和委員	様々な活動で活躍されており、ぜひ補完ツールで紹介をさせていただけたらと思う。 坂本委員から、以前の会議でも話題となった「中学生が語る会」などの普段の活動について、教えていただきたい。
坂本委員	「中学生が語る会」は、生田地区社協の事業で、生田・南生田・枡形中学校の生徒会や先生が、地域に入り、テーマを決めて話し合う取組である。５０年近く継続しており、昨年表彰を受けた。その他、高齢者に関しても、「高齢者のつどい」を８カ所程度行っている。また、一人暮らしの高齢者を対象とした会食会も、年６回程度実施している。社協で実施している様々な活動が紹介できるのではないかと考えている。
和委員	小川委員からも、普段の活動について、お伺いしたい。
小川委員	高齢者の方を対象に、「シニアカフェ」という形でフレイル予防の講話をしたり、体操するなどの取組を始めたところ。また、たまふれあいグループと連携して、就労支援事業所の方と、多世代交流という形で料理講習会も行っている。今後は、障害のある子どもたちと一緒に行う取組について、検討しているところである。
和委員	委員の皆様から様々な活動をお伺いしてきたが、多摩区では障害関係の取組も様々なものが行われていると思う。そういった活動もぜひ、取材して掲載してもらえたら良いのではないかと考えている。
坂本委員	子ども食堂について、公的支援があまり受けられず、困窮世帯が増えている中で、物資が不足していると聞いている。そういった活動に対する支援についても、この冊子に掲載できると良いのではないか。
北川所長	子ども食堂への公的支援に関しては、川崎市としての所管課が明確に決まっておらず、それぞれの団体の活動に紐づく所管課が、何らかの補助金を案内し、申請いただいている状況である。市として一本化した子ども食堂施策はなく、課題だと感じている。
和委員	委員の皆様の貴重な御意見に感謝する。以上をもって議事を終了する。進行を事務局へお渡しする。
事務局（林課長）	和委員、議事の進行ありがとうございました。 閉会にあたり、地域みまもり支援センター所長の北川からご挨拶を申し上げる。
北川所長	貴重な御意見をいただき感謝する。いただいた御意見を踏まえて、区民の皆様にとってわかりやすく、また、方針策定の根拠が一目でわかるような構成となるよう、検討してまいりたい。本日はどうもありがとうございました。
事務局（林課長）	以上をもちまして令和８年度第２回支え合いのまちづくり推進会議を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。